

# 「食と農の景勝地（仮称）」の創設

---

平成27年12月

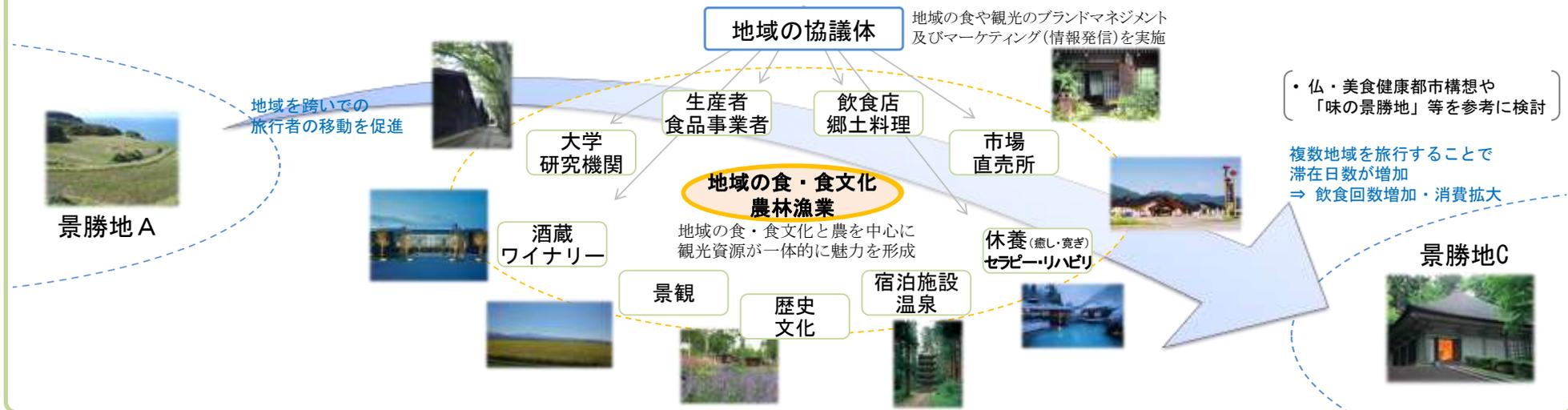
農林水産省

# 「食と農の景勝地」の創設による地域の魅力発信の強化

- 観光、海外、広報の有識者による検討会を設置し、多様な「地域の食」の魅力を効果的に海外発信するため、重点地域を「食と農の景勝地」として認定する仕組みを創設し、関連施策で後押し。

## 「食と農の景勝地」イメージ

- ・ 地域マネジメント組織があり、地域の食・食文化とそれを形成する農林漁業を中核として、「食」を育てている気候、風土、景観、歴史などの観光資源と一体的に「景勝地」を形成することで、その「食」を訪ねること自体が観光目的としての価値を有する取組を認定



## 「食と農の景勝地」に取り組む意義

### 国の日本食・食文化発信政策としての意義

- 「地域の食」と日本食・食文化の魅力発信関連施策との連携強化
  - ・ 「地域の食」の魅力をわかりやすく海外に発信可能になる
  - ・ 日本の食材や郷土料理等を学びたい料理関係者・学識者等の研修のモデルコースとして活用

### 「食と農の景勝地」となる地域にとっての意義

- 海外向けのPR強化（インバウンド需要の取込強化）
  - ・ 国の日本食・食文化の魅力発信の施策で「食と農の景勝地」として紹介されることにより、食をテーマとした観光ルートが形成され、地域を訪れる外国人旅行者が増加
- 地域食文化の継承と進化
  - ・ 食をテーマとして明定することで、食文化の国際交流が促進され、「地域の食」の継承や新たな魅力の発見による進化に貢献

## (参考) 食と農の景勝地検討委員会構成員

- 委員長 寺島実郎 (一般財団法人日本総合研究所理事長)
- 委員 加藤 誠 (株式会社ジェイティービー観光戦略部長)
- 委員 金井 健 (全国農業協同組合中央会常務理事)
- 委員 久保征一郎 (株式会社ぐるなび代表取締役社長)
- 委員 残間里江子 (株式会社キャンディッド・コミュニケーションズ代表取締役会長)
- 委員 田中里沙 (株式会社宣伝会議取締役副社長 兼編集室長)
- 委員 デービッド・アトキンソン (株式会社小西美術工藝社代表取締役社長)
- 委員 トム・ヴィンセント (株式会社Tonoloop Networks代表取締役社長)
- 委員 畠 利行 (福島県副知事)
- 委員 福田育弘 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
- 委員 矢ヶ崎紀子 (東洋大学国際地域学部准教授)
- 委員 渡部明央 (一般社団法人日本ソムリエ協会常務理事)
- 委員 渡邊賢一 (一般社団法人元気ジャパン代表理事)

(オブザーバー) ※農林水産省のほか、

内閣官房 知的財産戦略推進事務局内閣参事官、まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官

総務省 情報流通行政局コンテンツ振興課放送コンテンツ海外流通推進室長

文部科学省 文化庁長官官房付、文化庁文化財部記念物課長

経済産業省 商務情報政策局クリエイティブ産業課長

国土交通省 観光庁観光地域振興課長

等が参加